

学校教育目標:志高く 未来を拓く 高西中教育

共に拓く

尾道市立高西中学校
第3学年通信第13号
令和4年1月7日

3学期、始動!

明けましておめでとうございます。みなさん、冬休みはどのように過ごしましたか?高校入試直前の冬休み。きっと、それぞれが自分にとって必要なことを把握し、「計画と実践」を積み重ねた冬休みを過ごしたのだらうと思います。この冬休みの期間中、面接練習や志望理由書の作成など、頑張っている人がたくさんいました。何度もやり直しになった人もいましたが、どの人も前向きに、そして真剣に取り組んでいる姿が印象に残りました。その頑張りには必ず力になります。頑張った分だけ自分の自信に変えて、これからも努力を積み重ねていきましょう。冬休みを振り返り、頑張りが足りなかったと思う人は危機感をもってください。周りの頑張りに力をもらって、前進あるのみです。やる気を出すのも、やるのも自分自身。そして、踏み出す一歩を決めるのも自分自身です。「受験」が目の前にくればくるほど、不安になります。でも周りには共に頑張る仲間がいます。寄り添ってくれる家族がいます。進路実現に向けて最後の最後まで努力し続けるみなさんであってください。私たちはいつでもみなさんを全力で応援しています。

さて、3学期。中学校生活最後の2ヶ月です。進路実現に向けて苦しい時期ではありますが、この仲間を過ごす限られた1日1日を大切に過ごしていきましょう。学年主任の小坂先生が、「とらどし」でみなさんにこのようなメッセージを考えてくれました。

ともに拓く

らい年度の新しいステージに向けて

どんなことも乗り越えて

ひんろじつげんを全員で!!

進路を「共に拓く」ことができる3学期にしていきたいと思います。



受験と聞くと…

早い人はこの週末に受験本番を迎えます。そして、私立高校の入試が続きます。完全受験モードに入り、授業も1時間1時間を集中して受けてください。

さて、こんな話があります。

ある靴を製造している会社が、ある発展途上国に支社をつくる計画を立てました。そこで、その国で靴が売れるかどうか、2人のサラリーマンを派遣しました。サラリーマンAは本社にこのような報告をしました。
「全く売れる見込みがありません。この国では誰も靴を履いていません。」
一方、サラリーマンBの報告はサラリーマンAとは全く逆のものでした。
「おおいに見込みがあります。この国では、まだ誰も靴を履いていません。」

今、みなさんの心境はサラリーマンAとサラリーマンBのどちらですか?

入試まで「もう」〇〇日だと思っっていますか?

入試まで「まだ」〇〇日だと思っっていますか?

私は、みなさんに今の時期はサラリーマンBのような前向きな気持ちを持ってほしいと思っています。もちろん「まだ」と思って安心してほしいわけではありません。ただ、「もう」と思ってあせって空回りして結局何も手につかない…なんてことは避けたいのです。全く緊張感がないというのも考えものですが、緊張しすぎもよくないのです。

テストの前に、テストのことを考えると眠れなくなったり、おなかが痛くなったりする人も少なくはないと思います。それは、心と体が密接に関わり合っているということなのです。だったら、逆に考えてみてください。心の持ちようによって、積み重ねてきた努力を最大限に発揮できるということになりますよね。普段からの不断の努力がみなさんの力になります。「やるだけのことはやった。」とすっきりした気持ちで入試に臨めるように、平常心で物事に取り組めるように、心を鍛えてください。緊張しないための「おまじない」はたくさんあります。しかし、最後に一番効くのは「できる限りのことはやった」という気持ちと、どんな状況になっても自分を信じる前向きな明るい気持ちです。努力を自信に変えることができるように、一緒に頑張っていきましょう。

保護者の皆様へ

いよいよ3年間の集大成ともいえる3年3学期が始まりました。入試も本格的に始まります。私たち3学年教職員一同、全員の進路実現に向けて、引き続き全力で取り組んでまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。